

おはようさん

第4号

文化のたもとに、わが町の歴史を語り継ぐ。女性文化の発展を期す。京都府民の文化の発展を期す。京都府民の文化の発展を期す。

京都の躰を語る女性の会
〒六一六・〇〇二二 京都市西京区嵐山朝月町六八・八
京都府社庁内
TEL 〇七五・八六三・六六七七
FAX 〇七五・八六三・六六六五
http://www.net-keo.jp/situke
E-mail:situke@net-keo.jp

講演会 『国際人ってなに？』

二十世紀に笑いと潤いをく

落語家 桂 小米朝氏



桂小米朝氏を囲んでの茶話会



扇子作り体験会



各々、工夫を凝らした扇子の絵や文字
机の上には、夏らしい西瓜、朝顔。
ダイナミックに書かれた大きな文字、繊細な

初夏の清々しい風を感じる頃、八坂神社の常磐新殿にて第四回の催しがおこなわれました。

講演会は、落語家の桂小米朝氏にユーモアを混ぜての楽しいお話をしながら、一つのジャンルにとらわれないことなく、幅広い趣味をいかして常に落語界にも新しい風をとり込んでいらっしやいます。

桂氏を囲んでの茶話会では、いろいろな分野でご活躍されている事に対する参加者の質問も多くあり、なごやかなひとときがあつという間に過ぎました。その後、希望者のみの参加ということで、扇子作りを体験できるコーナーを設けました。童心に返って、色鉛筆、絵の具、墨などを使って、思いの絵や文字を描きオリジナルの扇子を作りました。

京職人の伝統と技

提灯和傘・内藤商店さん

「こつこつと向き合う時間が好きなんです」

■四十二歳の七代目さんは、
根っからの職人気質

河原町五条を三筋下がり西に入ったところに、江戸時代から七代続いた提灯と和傘の老舗「内藤商店」さんがあります。今回はこのご主人、内藤正仁さんをお訪ねしました。

先代がご病身であったこともあり、若干二十二歳、大学在学中からお店を任された正仁さん。子どもの頃から家業のお手伝いをされていたせいも、別段何の抵抗もなくあっさり七代目を継いだとか。若かりし頃ゆえさぞかし苦労話などもあるかとお聞きしてみると、「いやあ、父は優しい人でしたから、子どもの頃からつらいと思ったことなんて何もありませんでした。ひどく叱られたという思いもほとんどないですね。それに職人さんからも随分教えてもらったし。つくづくわたしは根っからの職人気質なんだと思いますよ。こうしてこつこつと提灯と向かい合っているのが、何より性に合っていると思っっています。親父には親父のやり方があったように、わたしも自分なりに工夫してやっていくつもりです。」というお答えが返って来ました。



内藤商店の店先
下京区上数珠町間之町門
Tel.351-3768

■お客さんの誉め言葉で
苦労も忘れれます

提灯は岐阜産も有名ですが、土地によって工法が少々異なります。京都の伝統的な提灯、それも最高級品は、手で割った割竹を使い（ほかの骨材には廉価なものから針金・針金に樹脂を巻いたもの・ひご・機械で割った割竹がある）、その割竹をまず必要な長さ（切）に切ってから提灯の直径にあわせて輪にしたものを型にはめて和紙を貼るそうです（大阪では型にはめてから切る）。また、螺旋状のものよりも一本ずつ型にはめたものの方がより高級品だとか。提灯作りの工程は、骨・紙貼り・木地・塗り・金具の順にそれぞれ職人の手を経て、最後に文字や紋を入れる提灯屋さんに届きます。この文字入れは、下職さんに出すものと主人自ら書くものがあり、その後組立てられてやっと完成です。最近ではピ

ニール製も多く見かけますが、やはり手仕事には独特の風合いが残ります。

「技術的な難しさは複雑な紋を書くことでしょうか。でも、そうしたことは勉強すればいいのです。本当の難点は自分の力では解決できないことにあります。例えば、お客さんから「すぐに欲しい」と言われた時、数が多いとどうしても手書きではなく印刷に頼らざるをえません。また、熟練した技術のある職人さんが少なくなってきたことも深刻です。この仕事は長時間労働であるうえに孤独な作業です。熟練するまでにはやはりかなり辛抱がいります。そうした苦労の割にはその手間と熟練を価格に反映できないのが現状で、それが若い人には受け入れられにくい点でもあります。でも、わたしはお客さんから「ここのはええ提灯や」と誉められると最高にうれしくて、この仕事をやっていて良かったなあと思っています。」正仁さんのお顔からやっとな笑顔がこぼれました。

■大人から変わるべき時代

最後に昨今の教育問題についてご意見をうかがいました。「今の時代は時間にも内容にも余裕がなく、ぎりぎりのところであくせくしているように思います。そんな大人の生き方が変わらなければ、絶対に子どもは変われませんよね。それからもう一つ、お金を物事の基準にしないで、仕事とか中味で評価せんとあかんと思います。子供達には机上の空論ばかりやのうて、ものを創る、工夫する、体験することこそが重要なんです。わたしら職人は仕事の出来で一人前かどうか一目瞭然。とてもシビアな世界ですがそれでいいんですよ。そういうものの計り方みたいな考え方ってこれからすごく大事だと思えます。」

帰りがけ蛇の目を一本わけて頂きました。片手でくるつと回すと数センチ傘が開きます。それから両手で大きく開くと、そこには見事な飾り糸の模様が現れました。深い朱の骨にミッドナイトブルーの唐紙。小粋な蛇の目傘を手、内藤商店さんを後にしました。ご多忙中にもかかわらず取材にご協力いただいた御店主に、心より深謝致します。



内藤商店
7代目主人
内藤正仁氏
昭和33年生まれ



連載・時事を問うコラム④

「家」

八坂神社権禰宜 竹内 幸平

戦後の著しい社会変化に伴い、家も大きく様変わりしてきた。衛生的で快適・便利で機能的な高層住宅は、建設ラッシュである。鉄筋住宅も、旧来の住宅の好きを取り入れ変化しているものの、プライバシーを守り、機能性重視のため、私的生活中心の構造になっていくように思う。旧来の座敷（客間）・居間・茶の間の区別がなく、厚いドアと壁で内と外が、全く遮断されてしまっている。客間は本来「ハレ」の空間であり、外との公的接点の場であった。大人は責任をもって家の体面を保ち、子供は緊張の中に威儀を正し、挨拶をしたものである。社会へ出る訓練を積む場であったように思う。居間は「ケ」の空間であり、内なる団欒の場として、互いに顔を合やす甘い・楽しい場であった。障子・襖で仕切られたのみの部屋に於いては、暗黙の規制がかかってくる。この規制力が、人として生きる常識を自然と身に着けることができたのではないだろうか。又個人として公的責任

に耐えることができる人を養成してきたのであろう。内と外とが共存する家々の関係は、玄関を出ても地縁的な繋がりを持ち、侵入者に対してもある種の緩衝となる。共同体的な隣近所を形成してきた。厚いドアと壁で区切られた空間は、私的生活中心であり、内と外との共存関係は見られない。個人中心の私的生活の甘えに慣れた人間が、気の抜けぬ社会に出て、自分の責任でもって運命に耐えられるであろうか。迂回をしてもいい、長い歴史に培われた様式に、加える部分は加え、よりよき住まいの追求をすべきである。神話の世界の残る家には、故郷を感ずる。家の崩壊は、社会を根本的に亡ぼすのではないかと危惧する。



京のなぜ？

京の家は、「うなぎの寝床」？

うなぎの寝床・・・細長いうなぎが狭い筒などを好み生息する事から、間口が狭くて奥行き深い建物などのことを例えて言います。しかし、京の家はなぜ「うなぎの寝床」と言われるのか？歴史上の理由によるものか、はたまた京独特の風習によるものなのか？大文字の女将今井さんにお尋ねしました。

京の町なかの家はほとんどが、間口より奥行きが長い形をしています。これは秀吉さんが、間口の広さに合わせて税を課せられたから、と云われています。でもそれだけではありません。

間口の左右どちらか片側に入口があり、そのまま裏口まで通路を通し、部屋は表から、店の間、玄関、台所、奥の間と縦一列に並び、次に坪庭があり、その奥に離れがあります。

風の少ない京都の夏に、いかに家の中に風を取り込むか、その風の道を妨げないよう、京都の気候を知り尽し、実に見事に考えられた先人達の知恵であり、昔も今も風通しの良さが心身共に一番大切な事なので、今、新築するとしても、京都の気候風土が変わらない限り、うなぎの寝床の偉大さは変わらないと思います。秀吉さんの税制が、もしなかったとしても、京都はやはりうなぎの寝床でしょう。

次回予告

対談

『現場が語る教育問題』

日時

平成十二年十月八日（日）

午後二時～四時頃

※午後一時三十分受付

場所

京都府神社会館
（松尾大社大鳥居横）

会費 無料

対談

京都市立大宅小学校教諭 前田 正氏
社会福祉法人岩屋福祉会 室田 一樹氏
岩屋保育園々長

※当日託児室を設けております。

お子様と一緒にでも、ぜひご参加ください。

：お知らせ：

京都府神社会館竣工記念特別企画

天皇后陛下

ご成婚四十周年記念写真展

第二期（昭和四十四年頃
～平成六年頃）

会期 平成十二年十月七日（土）
～十月二十二日（日）

※会期中無休

時間 午前十時より午後四時

但、入場は午後三時三十分まで

会場 京都府神社会館

京都市西京区嵐山朝月町
松尾大社大鳥居北側

入場無料です。どうぞご自由にご入場の上ご観覧下さい。

特集

四〇〇年前の踊り 現代に再生

去る七月八日、JR京都駅ビル室町小路広場において、四〇〇年前の踊りが再生され披露された事は、各新聞紙面でも報じられた通りです。

振り付けを担当された、当会の提言者でもある藤蔭さんにお話しをお聞きしました。

二〇〇〇年ミレニアム！誰でも自由に参加できる新しい京都の祭りを作ろう。

京都市教育委員会の委嘱により、今年から動き出したプロジェクト「二十一世紀大風流」

慶長九年（一六〇四）、豊国神社で行なわれた秀吉の法要に合わせ、南蛮風の衣装に身を包んだ京の町衆が最先端の踊りや歌を楽しんだ大風流。その「豊国祭礼図屏風」の姿から触発され、現代版を目指す。躍動する市民の祭り、参加型の祭り。

私はそのプレイベントのPR用に「新・大風流踊り」の創作依頼を六月に受けました。

「野猿やパラパラの要素を入れてお願いします。」と言われ、「パラパラって何？」と娘にたずね、慌ててそのビデオを見ました。その感想は「何や、手旗信号か手話やんか。」という事でステッパはパラパラ、そして「元氣都市、京都」に因み「元氣・京都・楽しい、

散歩・行こう」という五つの手話を振り取り入れました。残りの振りで、着物・西陣織・お坊さん・舞妓さんのポッコリ・五条の三重の塔・大文字・祇園祭・大風流のロゴマークの八つを表現いたしました。音楽はラップ調。曲を渡される時、「先生、びっくりされませよ。」と言われ、持ち前の負いん気から「この歳になると少々の事では驚きませんよ。」とかわいくないオバさんのセリフを言ってしまうました。娘にも相談しながら出来上がった「新・大風流踊り」、産みの親である私の元を離れ、我が息子（新・大風流踊り）は先輩の方々から助けられ、多くの人々から愛され、どんどん成長しております。その成長振りをうれしく見守りながら、この息子が大勢の人々に夢と元氣を与え二十一世紀に活力の輪を広げてくれることを願ってやみません。

なお、十二月三日、左京区の国際会館で「二十一世紀大風流―百花繚乱」が開催されます。実行委員会では、この「新・大風流踊り」の踊り手を募集されています。練習は毎週火・木曜の午後六時〜九時、中京区富小路六角下ル、元生祥小学校。参加無料です。

お問い合わせは
京都市教育委員会社会教育課
(075-222-3800)

皆様も是非ご参加ください。親子で共に汗を流して踊ることは、すばらしいコミュニケーションです。さあ、世代を超えて踊りましょう。

宗家藤蔭流 二代目 藤蔭静枝

ご案内

ジャズと日舞 京で逢ふ

山下洋輔ニューヨークトリオ
meets 日舞 宗家藤蔭流
二代目 藤蔭静枝

日時／平成十二年十一月二日(木)
開場 午後六時三十分
開演 午後七時

場所／京都府会館第二ホール

料金／一般 前売 五〇〇〇円
当日 五五〇〇円
学生 前売 四〇〇〇円
当日 四五〇〇円

申込／藤蔭静枝後援会
TEL 075-222-4258
FAX 075-222-4573

朗報

堀川親子 銅賞独占

去る五月十二日の当会催事におきまして、扇子作りを実施しましたが、全員の作品を京都扇子工芸協同組合主催による京扇子デザインコンクールに出展しましたところ、当会事務局員でもある石清水八幡宮の堀川博史氏、その奥様で当会会員の堀川えつ子氏、そしてお子様の麻由子ちゃん作品が、見事！三人揃って銅賞を受賞しました。

尚、この作品を含む全ての作品を、次回催事の折にお披露目する予定です。ご期待下さい。

京都府神社 スカウト協議会とは

皆さんは、ボーイスカウト・ガールスカウトをご存じですか。世界一四四カ国で取り入れられている世界的な青少年育成運動で各方面で大きな成果を上げています。京都府内にもBSが七十九団、GSが四十三団ありますが、そのうち神社がその育成母体となつて運営する団を「神社スカウト」といい、「京都府神社スカウト協議会」という集まりを作り現在十三団が登録しています。

子供達は、鎮守の杜を活動拠点とした規律正しく豊富な活動プログラムを通じ、自然を愛し豊かな心を育て、やがては神社を支える大切な大人へと成長してくれることを期待しています。

入会随時受付

京都の躰を語る女性の会
お葉書・Eメール・お電話などにより、事務局までお申し込み下さい。

本会または本誌に対する、ご意見ご感想をお待ち申し上げます。

現況報告

会員数 二〇六名
ホームページアクセス数 四、七八六件
平成十二年九月五日現在